

令和元年12月9日（月）臨時生徒会朝礼生徒会長メッセージ

10月12日の土曜日、関東地方を襲った台風19号は、各地に大きな被害をもたらしました。中でも栃木県佐野市は、市の西部を流れる秋山川が氾濫し、多くの家屋が浸水・倒壊等、甚大な被害を受けました。さらにその中でももっとも大きな被害を受けたのが佐野市立常盤中学校という、全校生徒40名の小さな学校です。

佐野市立常盤中学校は、氾濫した秋山川の正に川岸にある学校です。幸い、校舎こそ被害を免れましたが、多くの生徒の家庭が被害に遭いました。12名の生徒は学校へ通じる道路が寸断され、途中山道を歩いて学校まで通学することを与儀なくされました。さらに、現在でも2名の生徒が自宅に戻れず、避難生活を送っているそうです。

今回、この話を聞いて、同じ名前の「常盤中学校」の生徒として何かできないかと考えました。生徒会が中心となって「メッセージ入りの千羽鶴」の作成を呼びかけ、全校生徒の皆さんに作成をお願いしました。また、合唱コンクール当日、保護者の方が中心となって募金活動を行っていただき、生徒や保護者の皆さんから205,483円の義援金を集めることができました。この千羽鶴と義援金、そして生徒会で作ったビデオレターを11月6日に校長先生が佐野市立常盤中学校を訪問し、直接お渡しいただきました。

すると、12月3日、今度は佐野市立常盤中学校の星野校長先生が本校を訪問され、お返しにと佐野市立常盤中学校全校生徒で作成したビデオレターとメッセージをいただきました。

今日は、佐野市立常盤中学校の生徒会長さんからさいたま市立常盤中学校の皆さんに寄せられた手紙を代読した後、佐野市立常盤中学校から送られたビデオレターを鑑賞したいと思います。

今回の「佐野市立常盤中学校応援プロジェクト」の経緯と佐野市立常盤中学校の皆さんから送られたメッセージは、2階渡り廊下に掲示してありますので、是非ご覧ください。

また、今週の金曜日、「テレビ会議システム」を使って、佐野市立常盤中学校の生徒の皆さんと直接交流を行う予定です。是非同じ「常盤中学校」の生徒として、積極的な参加をお願いします。